

第26回 分子生物学セミナー

転写調節分子CITED2を介した 代謝制御機構

国立国際医療研究センター研究所 糖尿病研究センター
分子代謝制御研究部
部長 松本 道宏 先生

日時: 2016年6月17日(金) 18:00 ~ 19:00
場所: 総合研究棟8階多目的室

転写調節分子CBP- and p300-interacting transactivator with glutamic acid- and aspartic acid-rich COOH-terminal domain 2 (CITED2)は様々な転写調節分子と相互作用し、臓器の発生・分化、ストレス応答や細胞増殖において多彩な役割を持つことが知られている。CITED2の発現は栄養状態の変化により種々の臓器において変化するが、その代謝調節における役割は不明であった。最近の我々の研究から、CITED2は肝臓における糖新生や、脂肪組織量の調節を介して代謝を制御する重要な分子であることが明らかになりつつある。本セミナーでは、CITED2を介した代謝調節の分子メカニズムを中心に紹介し、病態への関与も議論したい。

共催: 山口大学研究拠点形成(新呼び水)プロジェクト「難治性疾患トランスレーション研究拠点」

連絡先: 医化学分野 中井 彰(2214)